

新大病院たより

和

第50号

(標題：中野雄一 元病院長)

院内冬のイベント紹介

入院患者さん向けコンサート♪

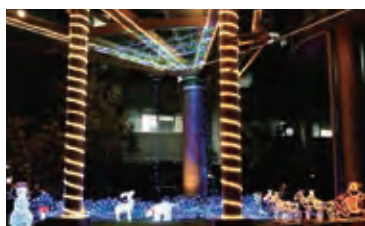
平成27年11月26日にウィンターコンサート、平成28年2月25日にスプリングコンサートを開催しました。本コンサートは本院教職員が中心となって企画し、患者さんに喜んでいただけるよう、勤務時間外に練習し本番に臨みました。いずれのコンサートも70人以上の患者さん及びご家族が演奏を楽しまれ、美しい音色に手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりして、楽しい時間を過ごされました。

院内コンサートは定期的に行っておりますので、主治医の許可を得た上で、ご参加ください。



イルミネーション

今回で10回目の開催となるイルミネーションが、平成27年11月16日から平成28年1月14日まで、病棟前の広場をきらびやかに彩りました。毎日夕方4時30分の点灯の瞬間に居合わせた患者さんやご家族から歓声があがり、寒い冬の中にも明るい光に包まれ、心が温まったのではないのでしょうか。



サンタさんの病棟訪問

平成27年12月18日にサンタさんが病棟を訪問し、患者さんにクリスマスカードを配りました。クリスマスカードを受け取られた患者さんは笑顔でサンタさんと記念撮影をするなど、一足早いクリスマスを楽しまれました。

写真は病棟を訪問する前にスタッフ一同で集合したもので、中央はサンタさんに扮した鈴木病院長です。



本院の理念・目標

◆ 理念 ◆

- ・生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します

◆ 目標 ◆

- ・患者本位の安全で安心できる医療を提供します
- ・豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人を育成します
- ・研究成果を反映した高度で先進的な医療を実践します
- ・地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します
- ・病院運営の適正化と効率化を促進します

患者の権利と責任

1. 個人の尊厳が尊重され、良質で公平な医療を受けることができます
2. 病状、治療、看護等について十分な説明と情報提供を受けることができます
3. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます
4. 自分が受ける医療について自分の意思で決めることができます
5. プライバシーが尊重され、医療の過程で得られた個人情報は保護されます
6. 医療者と協力し、自らの医療に積極的に参加する責任があります

医療機器の プロフェッショナル

「臨床工学部門」の紹介

新潟大学医歯学総合病院には、『臨床工学部門』という臨床工学技士で構成された部門があります。臨床工学技士は手術室、心臓血管撮影室、血液浄化室、高次救命災害治療センター、病棟、外来、MEセンターなどで、人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置などの人が生きていく上に必要な機能を代替え・補助する“生命維持管理装置”の操作や保守管理を行っております。また、院内のスタッフ向けに医療機器の研修会を開催することも重要な役割の一つです。

当院では夜間休日を問わず緊急の心臓手術があるため、医師からの連絡があれば人工心肺装置のスペシャリストが病院に向かい、手術中は患者さんの血行動態や手術の状況に合わせて人工心肺装置の操作を行います。また、心臓血管撮影室での緊急カテーテル検査・治療における機器や、心臓ペースメーカー、人工呼吸器、血液浄化装置などの“生命維持管理装置”に関する“問い合わせ”や“業務依頼”を24時間受けております。そのため私達は夜間、祝日を問わず呼び出しに対応し、どんな時でもすぐに病院に直行できる体制をとっております。

患者さんとお話する場面は限られる職種ですが、当院で治療される患者さんの回復を願い、医師や看護師、その他・医療スタッフと連携し、質の高い医療を提供できるよう努めております。また、病院のホームページでも臨床工学部門について紹介しておりますので、是非のぞいてみて下さい。

(臨床工学技師長 西塔 毅)



人工心肺装置の操作



心臓ペースメーカーの操作



心内心電図のモニタリング

空飛ぶ救急外来 ドクターヘリの紹介

ドクターヘリとは基地病院に常駐し、救急医療を専門とする医師と看護師が搭乗して、要請から5分以内に出勤可能な救命救急に必要な資機材を装備した救急専用のヘリコプターのことです。その優れた機動性と迅速性により、「空飛ぶ救急外来(ER)」とも呼ばれています。

新潟県では、救急車要請から病院収容まで平均45分以上を要し、ドクターヘリにより、早い初期治療の開始と搬送時間の短縮が可能となり、重症の患者さんの救命率の向上や後遺症の軽減が可能となります。

本院は平成24年10月から新潟県の要請を受け、ドクターヘリ基地病院となりましたが、ヘリポートは外来棟の屋上にあり、冬期や荒天時には運航ができないこともありましたが（平成26年度出勤実績：要請603件、出勤450件）。

そこで、平成27年9月に地上ヘリポートと格納庫を整備し、今後は更に多くの出勤要請に対応可能になると考えています（国土交通省北陸地方整備局様のご厚意により、国有地を整備場所としてお借りしました）。また、今秋には県内2機目のドクターヘリが長岡日本赤十字病院を基地病院として運用を開始する予定となっており、新潟県の救急医療はさらに充実する見込みです。

本院では、市民の皆さんを対象として、年数回ドクターヘリ見学会を開催しておりますので、興味がある方は参加をお願いします。

※ドクターヘリ要請は県内の消防本部が行います。一般個人から直接の要請は出来ませんのでご注意ください。

(高次救命災害治療センター部長 遠藤 裕)



クロスカントリースキー場(雪上)に着陸したドクターヘリ(普久原助教撮影)

あなたのお口が病気の治りに影響する？ ～医科歯科連携によるお口のケア～

近年、歯と歯ぐきを健康に保ち、食べる、話すなどのお口の機能を維持することが全身の健康や生活の質（QOL）と密接に関連していることが注目されています。こうしたなか、国の医療保険制度のなかでも、がんや心臓病、脳卒中などの病気で手術を受けられる患者さんに歯科を受診して頂き、お口のケアを行う「しゅつ き こう ぐう き のう かん り 周術期口腔機能管理」が位置づけられています。

からだの病気を治療するのに、なぜお口のケアが必要なのか、疑問に思われる方もいらっしゃるでしょう。健康な方でも、お口の中には多くの細菌が生息しています。健康であれば、全身の抵抗力が勝って、それらの細菌は悪さをしません。手術や抗がん剤、放射線治療などで、抵抗力が弱った時に、肺炎や重症の口内炎などの原因となることがあります。その結果、術後の回復が遅れたり、場合によっては治療そのものを中断しなければならない事もあるのです。

医歯学総合病院では、『医療連携口腔管理チーム』を設置して、こうした患者さんへ医科歯科連携によるお口の管理を行える体制を作っています。

その他にも、脳卒中患者さんの食べる・飲み込む機能のリハビリや、糖尿病患者さんへの歯ぐきの治療や歯磨き指導など、医科と歯科が連携した効果的な医療サービスの提供に努めています。

お口に不安のある方、しばらく歯科医院で治療を受けていなかったという方は、是非、先生や看護師さんにご相談ください。

（お口の健康室 教授 大内章嗣）

中央診療施設紹介 ①9

生命科学医療センター遺伝子診療部門

～ 遺伝子検査と遺伝カウンセリング ～

今から60年ほど前に、DNAの二重らせん構造が明らかになって以降、生物学での遺伝子に関する知識と技術は爆発的に進みました。学校で習う理科の学習内容でも、この分野の進歩を取り入れてどんどん新しくなっていて、お子さん方の中学・高校の生物の教科書も、親御さんの学校時代に比べるとかなり変わっていることに驚かれると思います。

この分野の進歩を取り入れて、病気に関わる遺伝子についての研究も進み、病院の検査や診療にも取り入れられ、病気の診断に役立てられる遺伝子検査も随分増え、以前は、小児科や産婦人科の領域で行われる検査が多かったのですが、今では、成人の疾患、例えば、がんや循環器疾患、神経・筋疾患などの診療にも用いられるようになってきました。

一口に遺伝子検査と言っても、感染症の原因となる細菌やウイルスなど病原体の遺伝子検査や、手術や検査で採取されたがん細胞の遺伝子検査、あるいはご両親から受けついだ遺伝子の検査など幅広い検

査が含まれるのですが、この中で、数はあまり多くはないのですが、配慮が必要なのが、ご両親から受けついだ遺伝子に関する検査、特に遺伝性疾患に関連する遺伝子検査です。

疾患に関連する遺伝子検査は日々進歩している領域にあり、限界もあります。加えて、患者さんでのこうした遺伝子検査の結果は、患者さんと遺伝子背景を共有しているご親族の皆さんが、健康を守る上で、あるいは社会生活を送る上で、様々な影響を与える可能性があります。遺伝子検査の原理、検査の意味、疾患の概要や診療内容、検査の結果が出た後の状況のシミュレーションなどについてじっくりお話しして、遺伝子検査について考えていただき理解していただく遺伝カウンセリングは、私たちの部門の大事な仕事のひとつです。

（生命科学医療センター 准教授 田澤 立之）

特定機能病院としての役割

本院は、平成6年12月1日に特定機能病院としての承認を受けています。

「特定機能病院」とは、以下のような条件を全て満たし、厚生労働大臣の承認を得た病院のことです。

- 1) 高度の医療を提供・評価・開発・研修することができる
- 2) 集中治療室、無菌室などの高度な医療機器・施設がある
- 3) 400床（ベッド）以上の大病院である（本院は825床）
- 4) 医療スタッフ（医師・看護師、薬剤師）の配置人数が一般の病院よりも多い（配置基準がある）などです。

特定機能病院である本院では、一般の病院や診療所では実施することが難しい手術や高度先進医療などの先進的な高度医療を、高度な医療機器、施設に支えられ、また、質・量ともに充実した医療スタッフを配置して実施しています。

本院の受診を希望される場合は、まず、かかりつけの診療所や病院を受診していただき、病状に応じてかかりつけの医師からの紹介状をお持ちになって本院を受診くださるようお願いいたします。紹介状をお持ちでなくても受診できる診療科もございますが、「初診料」をご負担いただく場合がありますので、ご了承ください。

ボランティアさん募集

新潟大学病院では、ボランティアさんを募集しています。
貴方の「優しさ」をお貸し下さい。

ボランティアさんの
活動内容

<外来玄関ボランティア>

月曜日～金曜日 9時～11時

- ・診療申込書の記入補助、代筆
- ・移動の介助
- ・病院内の案内
- ・自動再診受付機の実操作案内等

<海の見える図書館ボランティア>

月曜日～金曜日 10時～13時／13時～16時

- ・海の見える図書館の受付、図書の整理等

ボランティアさんの受入にあたっては、最低3ヶ月以上継続でき、原則として週1回以上可能な方とさせていただきます。

- ・ボランティア保険に加入していただきます。
- ・健康診断の結果を提出していただけます。
- ・活動中は、本院が貸与するネームプレート及びエプロンを着用していただきます。
- ・活動に要する費用（交通費を含む）は、自己負担になります。
- ・駐車場は利用できませんので、公共交通機関を利用していただくことになります。
- ・活動にあたっては、「ボランティアの心得」を遵守し、活動していただきます。



<お問い合わせ先> 新潟大学医歯学総合病院 総務課 TEL 025-227-2406

職員一同、心よりお待ちしております。

新大病院たより「和」のバックナンバーは本院ホームページ
(<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/about/koho.php>) をご覧ください。

発行 新潟大学医歯学総合病院広報委員会

(お問い合わせは総務課総務係 電話 025-227-2407,2408まで)